

川崎市建築物環境配慮制度受付番号 14088

建築物名称	(仮称)サンクレイドル武蔵中原Ⅱ
建築主	株式会社アーネストワン 代表取締役 松林 重行
建築物の所在地	川崎市中原区下新城二丁目789-1~4、790-1・3・4
設計者氏名、建築士事務所名	野々田弥 株式会社日企設計 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	3,622.95m ²
用途	共同住宅
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上7階
工事完了年月	平成28年6月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	なし

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サンクレイドル武蔵中原Ⅱ	階数	地上7F
建設地	川崎市中原区下新城二丁目789-1~4、790-2、791-1-3-4	構造	RC造
用途地域	準住居・第1種住居・第2種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	200人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年6月 竣工	評価の実施日	2015年3月15日
敷地面積	1,696 m ²	作成者	野々田 弥
建築面積	755 m ²	確認日	
延床面積	3,623 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

環境品質 G (縦軸) vs 環境負荷 L (横軸)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値	100%
② 建築物の取組み	76%
③ 上記+②以外の	76%
④ 上記+	76%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 4
Q3 室外環境 (敷地内): 3
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 1
LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

音環境	3.0
温熱環境	3.0
光・視環境	3.4
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

機能性	2.6
耐用性	3.0
対応性	2.5

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

建物の	3.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	3.1
効率的運用	N.A

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

水資源保護	2.2
非再生材料の	2.8
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化への配慮	3.9
地域環境への配慮	3.0
周辺環境への配慮	3.0

CASBEE-川崎2011 (v.1.2)

(仮称)サンクレイドル敷地中原Ⅱ

14088

重点項目についての環境配慮概要		実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高点のスコア合計	重点項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
緑の保全・回復(G)		Gの平均点	2.8
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物資源の保全と創出	川崎市緑化指針の基準を満たす緑地を計画		
2 まちなみ・景観への配慮	川崎市景観計画に則した外観とし、周辺の街並みに調和するよう配慮		
3 3.2 敷地内温熱環境の向上	緑被率、中高木投影面積率の合計が15%以上	2.3/4.3	2.6
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善	地表面対策面積率が15%以上30%未満	0.5/0.8	3.0
地球温暖化防止対策の推進(W)		Wの平均点	2.8
Q-1 ■ 室内環境対策			
2 2.1 2.1.3 外皮性能	外壁は省エネルギー等級3の断熱施工、サッシには複層ガラスを採用		
3 3.1 3.1.3 屋光利用設備	カーテンによりグレアを制御		
3.2 3.2.2 屋光制御		4.1/6.9	3.0
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物資源の保全と創出	川崎市緑化指針の基準を満たす緑地を計画		
3 3.2 敷地内温熱環境の向上	緑被率、中高木投影面積率の合計が15%以上	1.1/2.3	2.3
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物の熱負荷抑制	省エネルギー等級3		
2 自然エネルギー利用	専有部のほとんどが外皮に2方向面しており、有効な採光・通風が確保されている		
3 設備システムの高効率化		3.0/5.0	3.0
4 効率的運用			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護	節水型便器を採用		
2 非再生性資源の使用量削減		2.5/4.6	2.7
3 フロン・ハロンの回避			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善	地表面対策面積率が15%以上30%未満	0.5/0.8	3.0
資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)		Rの平均点	3.0
Q-2 ■ サービス性能対策			
2 2.2 部品・部材の耐用年数	住宅性能評価 劣化対策等級3	0.3/0.5	3.2
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護	節水型便器を採用		
2 非再生性資源の使用量削減	リサイクル材のパーティクルボードを採用	2.1/3.9	2.7
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.3 地域インフラへの負荷抑制	住戸数に対し、40%の駐車場を設けている	0.3/0.4	3.3
ヒートアイランド現象の緩和(H)		Hの平均点	2.8
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物資源の保全と創出	川崎市緑化指針の基準を満たす緑地を計画		
3 3.2 敷地内温熱環境の向上	緑被率、中高木投影面積率の合計が15%以上	1.1/2.3	2.3
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物の熱負荷抑制	住宅性能 省エネ対策等級3		
2 自然エネルギー利用	専有部のほとんどが外皮に2方向面しており、有効な採光・通風が確保されている		
3 設備システムの高効率化		3.0/5.0	3.0
4 効率的運用			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善	地表面対策面積率が15%以上30%未満	0.5/0.8	3.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 **2.8**

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要		実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
建設段階			
Q-2 ■ サービス性能対策			
2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数	住宅性能評価 劣化対策等級3	0.1/0.1	5.0
修繕・更新・解体段階			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
2 2.2 既存建築躯体等の再利用		0.8/1.4	3.0
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			
運用時のエネルギー			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物の熱負荷抑制	住宅性能 省エネ対策等級3		
2 自然エネルギー利用	専有部のほとんどが外皮に2方向面しており、有効な採光・通風が確保されている		
3 設備システムの高効率化		3.0/5.0	3.0
4 効率的運用			

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

スコアシート		実施設計段階				14088				
配慮項目	G	W	R	H	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
						評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質										3.0
Q1 室内環境							0.40			3.4
1 音環境						-	-	3.0	1.00	3.0
1.1 騒音						-	-	3.0	0.50	
1 室内騒音レベル						-	-	3.0	0.50	
2 設備騒音対策						-	-	3.0	0.50	
1.2 遮音						-	-	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能						-	-	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境						-	-	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御						-	-	3.0	1.00	
1 室温						-	-	-	-	
2 負荷変動・追従制御性						-	-	-	-	
3 外皮性能						-	-	3.0	1.00	
4 ゾーン別制御性						3.0	-	-	-	
5 温度・湿度制御						-	-	-	-	
6 個別制御						-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮						-	-	-	-	
8 監視システム						-	-	-	-	
2.2 湿度制御						-	-	-	-	
2.3 空調方式						-	-	-	-	
3 光・視環境						3.0	1.00	3.5	1.00	3.4
3.1 昼光利用						-	-	4.0	0.50	
1 昼光率						昼光率2%以上				
2 方位別開口						-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備						-	-	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						-	-	3.0	0.50	
1 照明器具のグレア						-	-	-	-	
2 昼光制御						-	-	3.0	1.00	
3 映り込み対策						-	-	-	-	
3.3 照度						3.0	1.00	-	-	
3.4 照明制御						-	-	-	-	
4 空気質環境						-	-	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策						-	-	4.0	0.63	
1 化学汚染物質						仕上は全てF☆☆☆☆使用				
2 アスベスト対策						-	-	4.0	1.00	
3 ダニ・カビ等						-	-	-	-	
4 レジオネラ対策						-	-	-	-	
4.2 換気						-	-	3.0	0.38	
1 換気量						-	-	3.0	0.33	
2 自然換気性能						3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						-	-	3.0	0.33	
4 給気計画						-	-	-	-	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視						3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御						3.0	-	-	-	

Q2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
1	広さ・収納性									
2	高度情報通信設備対応									
3	バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性										
1	広さ感・景観									
2	リフレッシュスペース									
3	内装計画									
1.3 維持管理										
1	維持管理に配慮した設計									
2	維持管理用機能の確保									
3	衛生管理業務									
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震										
1	耐震性									
2	免震・制振性能									
2.2 部品・部材の耐用年数										
1	躯体材料の耐用年数	R								
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	R								
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	R								
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	R								
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	R								
6	主要設備機器の更新必要間隔	R								
2.4 信頼性										
1	空調・換気設備									
2	給排水・衛生設備									
3	電気設備									
4	機械・配管支持方法									
5	通信・情報設備									
3 対応性・更新性										
3.1 空間のゆとり										
1	階高のゆとり									
2	空間の形状・自由さ									
3.2 荷重のゆとり										
3.3 設備の更新性										
1	空調配管の更新性									
2	給排水管の更新性									
3	電気配線の更新性									
4	通信配線の更新性									
5	設備機器の更新性									
6	バックアップスペース									
Q3 室外環境(敷地内)										
1 生物環境の保全と創出				G	W		H			
2 まちなみ・景観への配慮				G						
3 地域性・アメニティへの配慮										
3.1 地域性への配慮、快適性の向上										
3.2 敷地内温熱環境の向上				G	W		H			

LR 建築物の環境負荷低減性									3.0
LR1 エネルギー									3.0
1 建物の熱負荷抑制	W		H						3.0
2 自然エネルギー利用									3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用	W		H						3.0
2.2 自然エネルギーの変換利用	W		H						3.0
3 設備システムの高効率化	W		H						3.1
集合住宅以外の評価 (ERRIによる評価)									5.0
集合住宅の評価									3.1
4 効率的運用									-
4.1 モニタリング	W		H						3.0
4.2 運用管理体制	W		H						3.0
LR2 資源・マテリアル									2.8
1 水資源保護	W		R						2.2
1.1 節水									1.0
1.2 雨水利用・雑排水等の利用									3.0
1 雨水利用システム導入の有無									3.0
2 雑排水等利用システム導入の有無									3.0
2 非再生性資源の使用量削減									2.8
2.1 材料使用量の削減	W		R						2.0
2.2 既存建築躯体等の継続使用	W		R						3.0
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	W		R						3.0
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	W		R						3.0
2.5 持続可能な森林から産出された木材	W		R						2.0
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	W		R						3.0
3 汚染物質含有材料の使用回避									3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用									3.0
3.2 フロン・ハロンの回避									3.0
1 消火剤	W								-
2 発泡剤(断熱材等)	W								3.0
3 冷媒	W								3.0
LR3 敷地外環境									3.3
1 地球温暖化への配慮	W								3.9
2 地域環境への配慮									3.0
2.1 大気汚染防止									3.0
2.2 温熱環境悪化の改善	G	W							3.0
2.3 地域インフラへの負荷抑制									3.0
1 雨水排水負荷低減									3.0
2 汚水処理負荷抑制									3.0
3 交通負荷抑制									3.0
4 廃棄物処理負荷抑制									3.0
3 周辺環境への配慮									3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止									3.0
1 騒音									3.0
2 振動									-
3 悪臭									-
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制									3.0
1 風害の抑制									3.0
2 砂塵の抑制									3.0
3 日照障害の抑制									3.0
3.3 光害の抑制									3.0
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策									3.0
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策									3.0

14088

(仮称)サンクレイドル武蔵中原Ⅱ

このマンションは分譲住宅環境性能表示の届出を行っています。

建築主は分譲共同住宅環境性能表示を販売広告に掲載した日から15日以内に届け出る
ことになっており、これにより公表しています。



この表示は川崎市の定めた基準に従って、建築主が自らの計画を評価した内容に
基づいています。